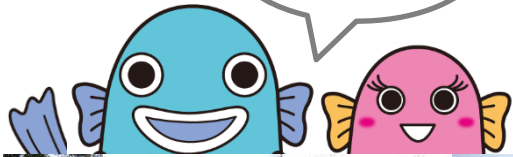


生きもののいのちと感謝のころ

くようひ
お魚の供養碑

みんな、
供養碑のことを
しってる？

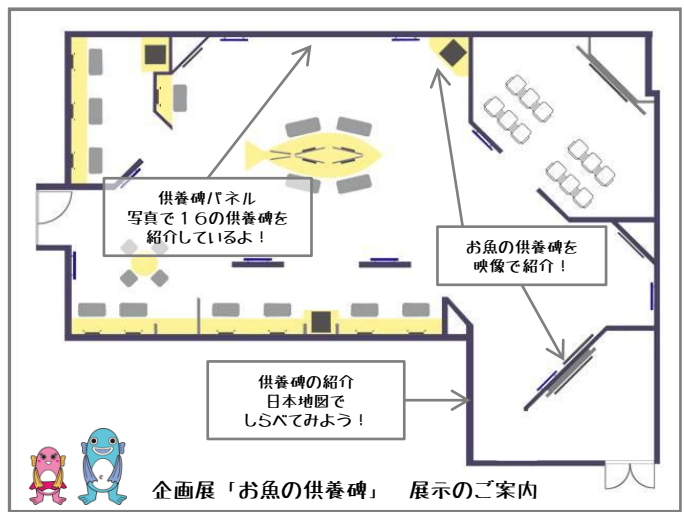


豊海おさかなミュージアムは、お魚や漁業、海についての映像や情報を紹介しています。

今回、ミュージアムでは特別展「お魚の供養碑」を展示しています。

海にかこまれた日本では、魚や貝など、さまざまな生きものを重要な食料などとして利用しています。そうした生きものに感謝する供養碑（魚のお墓）が、日本各地にたてられています。

供養碑から、生きもののいのちに感謝するところを感じてください。



シンポジウム<生きもののいのちと感謝のこころ>魚・草木・馬>

日時：2013年2月2日（土） 13:00~17:00頃

会場：豊海センタービル 2階会議室

内容：

- ①東海大学海洋学部の田口理恵先生による報告
「魚の供養碑－水棲生物の供養碑調査から見えてきたこと」、
- ②山形大学東北創生研究所・やまがた草木塔ネットワークの村松真先生による講演
「やまがた草木塔ネットワークの活動と草木塔研究の可能性」
- ③東海大学海洋学部の関いずみ先生による解説・案内
豊海おさかなミュージアムの展示紹介
- ④MIHO MUSEUMの片山寛明先生による講演
「馬と馬頭観音－その成立と日本の変容」
- ⑤総合地球環境学研究所の秋道智彌先生より総括コメント

参加費無料

主催：東海大学海洋学部・お魚供養研究会

（科学研究費「アジアにおける生きものがたり
－生き物の生死をめぐる文化的対応に関する比較研究」）

協力：東京水産振興会・豊海おさかなミュージアム、東海大学海洋学部

【東海大学海洋学部 お魚供養研究会】

お魚供養研究会は、全国のお魚や植物など、さまざまな供養碑から、わたしたちの生活や文化と生きものや自然とのかわりについて、しらべています。

東海大学海洋学部の田口先生を代表に、関先生、加藤先生といった先生方と学生たちがとりくんでいます。

－これまでのとりくみ－

科研「魚霊供養からみる海洋資源の利用と変化－魚霊供養碑データベースの構築」（平成21～23年）

現在は、人間文化研究機構・連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」および「日本の環境思想と地球環境問題－人文知からの未来への提言」プロジェクトとも協力して、研究をすすめています。

－出版物－

『魚のとむらい－供養碑から読み解く人と魚のものがたり』（東海大学出版会）



【豊海おさかなミュージアム】

開館時間：午前10～午後4時（月曜～金曜）

休館日：土・日・祝日

交通機関：東京駅丸の内南口より都営バス（都04・豊海水産埠頭行）
門前仲町駅より都営バス（門33・豊海水産埠頭行）
都営地下鉄大江戸線・勝どき駅A3出口より徒歩10分